

逗子第一運動公園アダプトプログラム／植樹地保全作業

(株) 研 進 出 縄 貴 史

掲題について、下記の通り第3回目の作業を行いましたので報告します。

記

1. 日時：2024年6月19日（水） 9：45～12：00
（研進、湘南の風mai!えるしい：9：45～／湘南の風えいむ：10：30～）
2. 場所：逗子第一運動公園植樹地（2014年10月、宮脇方式により植樹した場所）及び
その外側の道路沿いの植栽地
3. 参加者：湘南の風mai!えるしい4名、湘南の風えいむ3名、研進2名、合計9名
4. 作業：
 - （1）植樹地（保全を一任頂いてる場所）
 - ① 除草 ② 補植4種類各5本、合計20本（注）

（注） 密植度が落ちた箇所に、ケンスコで穴を掘り、腐葉土（進和学園製造）を混ぜて土壌を整え、次の苗木（2年生苗）を植えた。
⇒ アオキ、ヤツデ、ヒサカキ、シャリンバイ各5本（進和学園栽培）
 - （2）植樹地の外側（道路沿い）

外来種の唐ネズミモチ5本の間伐・剪定、毒性を有す夾竹桃2本の剪定。
⇒ 唐ネズミモチは道路沿いに何本も高く伸びて、潜在自然植生種の植樹地の日照を遮っているため、7～8本を膝～腰高で間伐することを計画、本日、5本の間伐を実施した。
夾竹桃は、1本を膝～腰高で剪定。1本は、背丈程度で半分程度剪定した。
＊ 植樹地の外側における保全作業となるため、事前に相談し、逗子市緑政課の森様（主事）に立ち会って頂き、現場を確認して間伐・剪定のご了承を頂きました。



駐車場から植樹地へ資材を運びます。
今回から台車を用意しました。



除草／除いた雑草は現場コンポストで腐葉土づくりに活かすか、地面に敷いてマルチングとする。



公園の隣家の方が出て来られ、私達が何をしているのかを尋ねられました。除草も行っていること説明したところ、喜んで下さいました。当方の活動にご理解頂くためにも、植樹地に連続した場所でご自宅に近い箇所に繁茂する雑草を刈り取りました。



密植度が落ちた箇所にケンスコで穴を掘り、腐葉土を混ぜて苗木を捕植。



本日は、アオキ、ヤツデ等の低木20本を植えました。健全な森は、高中低木がバランスを保って共生します。



小型電動ノコギリ、手動ノコギリを使用し唐ネズミモチ5本を間伐しました。



通行人がいないことを確認して、安全に十分注意して木を倒します。



外来種とはいえ、根こそぎ除くことはせず、再萌芽は妨げない。大きくなり過ぎないように、剪定をしながら、周囲の樹木との調和を図るように保全します。



枝を適当な長さに切断して「しがら（土留め）」材として利用出来るようにします。



夾竹桃の剪定



夾竹桃の剪定
太い枝の切除
は、ノコギリを
使います。



左：間伐・剪定した枝は、長いもので5～6m、
太さも5～10数cmに及びます。
突き出た枝を切って、適当な長さに揃えます。
次回、混垣植栽を行う計画であり、その際に
「しがら（土留め）」材として利用します。



本日、処理し切れなかった唐ネズミモチの枝は、
植樹地の外ではありますが、道路から離れた奥の方
で人が通らない場所に仮置きさせて頂きました。
毒性のある夾竹桃の枝は、別に分けて植樹地内に
置きました。



次回、混垣植栽を計画している植樹地の入口付近
の盛り土箇所。左方の夾竹桃が短く整理されまし
たが、その前に潜在自然植生種の苗木を混植・密
植、シンボルツリー（例：イロハモミジ）以外は、
腰高で剪定して公園に相応しい緑地帯とします。